

安全データシート

作成日 2010 年 7 月 2 日
改訂日 2021 年 7 月 1 日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 **アサヒボンド700P B液**
会社名 アサヒボンド工業株式会社
住所 東京都板橋区大谷口北町3-7
電話番号 03-3972-4929
Fax 番号 03-3972-4583
緊急連絡電話番号 営業部 03-3972-4929
推奨用途及び使用上の制限: モルタルやコンクリートひび割れの注入補修に限る。
整理番号 10032

2. 危険有害性の要約

| | | |
|-------------|------------------|----------|
| 化学品の GHS 分類 | | |
| 物理化学的危険性 | 引火性液体 | 区分に該当しない |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性(経口) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性(経皮) | 区分に該当しない |
| | 急性毒性(吸入) | 区分に該当しない |
| | 皮膚腐食性/刺激性 | 区分 2 |
| | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分 1 |
| | 皮膚感作性 | 区分 1 |
| | 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 分類できない |
| | 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 区分 2 |
| | 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 分類できない |
| | 誤えん有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性 短期(急性) | 区分 3 |
| | 水生環境有害性 長期(慢性) | 区分 3 |



GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:
注意喚起語: 危険

危険有害性情報: (H315)皮膚刺激
(H318)重篤な眼の損傷
(H317)アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
(H371)臓器(呼吸器)の障害のおそれ
(H371)臓器の障害のおそれ
(H402)水生生物に有害
(H412)長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】

(P260) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
(P270)この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
(P272)汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
(P273) 環境への放出を避けること。
(P280)保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

(P302+P352)皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。
(P305+ P351+P338) 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。
(P310)直ちに医師に連絡すること。
(P333+P313) 皮膚刺激または発しんが生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
(308+P311) ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
(P332+P313) 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
(P362+P364)汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
(P391)漏出物を回収すること。

【保管】

(P405)施錠して保管すること。

【廃棄】

(P501) 内容物や容器は国・地方の許可を受けた廃棄物処理業者に委託し廃棄すること。

3. 組成、成分情報

| 化学物質・混合物の区別 化学品又は一般名 | 混合物 変性ポリアミドアミン | CAS 番号 | 官報公示整理番号 |
|-------------------------|-------------------|-----------|------------------|
| 危険有害成分 | 濃度(%) | なし | 非開示 |
| 変性ポリアミドアミン | 6.5～8.5 | 1477-55-0 | (3)-303,(3)-2888 |
| メタ-キシレンジアミン | 0.3> | 7732-18-5 | -- |
| 水 | | 非開示 | 非開示 |
| 消泡剤 | 100ppm> | | |

4. 応急措置

| | |
|----------------------|--|
| 吸入した場合: | 被災者を空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。 |
| 皮膚に付着した場合: | 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。多量の水と石鹸で洗うこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。皮膚刺激または発しん生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。 |
| 眼に入った場合: | 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 |
| 飲み込んだ場合: | 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 |
| 応急措置をする者の保護に必要な注意事項: | 救助者は保護手袋や保護眼鏡などの保護具を着用し、衣類や手に付着しないように注意を払うこと。 |

5. 火災時の措置

不燃性である。

6. 漏出時の措置

| | |
|------------------|---|
| 人体に対する注意事項: | 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 |
| 保護具及び緊急時措置: | 関係者以外は近づけない。 作業者は適切な保護具を着用し、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 |
| 環境に対する注意事項: | 河川等に排出され、環境中へ影響を起ささないように注意する。 環境中に放出してはならない。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材: | 危険な状況でなければ漏れを止める。 |
| 二次災害の防止策: | 全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。 排水溝、下水溝、地下室、あるいは狭い場所への流入を防ぐ。 |

7. 取り扱い及び保管上の注意

| | |
|------------|--|
| 取り扱い | |
| 技術的対策: | 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 |
| 安全取扱い注意事項: | 取り扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをすること。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 ガス/ミスト/蒸気スプレーを吸入しないこと。 環境への放出を避けること。 |
| 接触回避: | 「10. 安定性及び反応性」を参照。 |
| 衛生対策 | 取り扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをすること。 |
| 保管 | |
| 安全な保管条件: | 酸化剤、酸から離して保管する。 容器を密閉して、30℃以下の風通しのよいところで施錠して保管すること。 |
| 安全な容器包装材料: | ポリ容器に保管する。 |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|-----------------|--|
| 許容濃度 | |
| 日本産衛学会(2007年版): | 設定されていない。 |
| ACGIH(2007年版): | メタ-キシレンジアミン TLV-STEL 0.1mg/m ³ 皮膚吸収性有り。 |
| 設備対策: | 局所排気装置を設置すること。 取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具: | 防毒マスク(有機ガス用) |
| 手の保護具: | 耐水性(不浸透性)の手袋 |

| | |
|-------------|--|
| 眼、顔面保護具: | 保護眼鏡または安全ゴーグル |
| 皮膚及び身体の保護具: | 長靴、前掛け、保護衣 |
| 特別な注意事項: | 取り扱い後、手や顔をよく洗い、うがいをすること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-----------------|-------------------------------------|
| 物理状態、色: | 淡黄色の低粘度液体 |
| 臭い: | アミン臭 |
| pH: | 10~11 |
| 融点/凝固点: | データなし |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲: | 沸点; 常圧で略 100°C(推定)。 |
| 可燃性: | 該当しない |
| 引火点: | 検出できない。 |
| 自然発火点: | データなし |
| 分解温度: | データなし |
| 動粘性率: | 動粘度(40°C); データなし |
| 溶解性: | 水可溶 |
| n-オクタノール/水分配係数: | データなし |
| 蒸気圧: | データなし |
| 密度及び/又は相対密度: | 密度; 1.0~1.1g/cm ³ (23°C) |
| 相対ガス密度: | データなし |
| 燃焼又は爆発範囲の上限/下限: | データなし |
| 粒子特性: | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|-------------|--------------------------------------|
| 反応性: | 炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物及びイソシアネート化合物等と反応する。 |
| 化学的安定性: | 通常の取扱い条件下では安定であるが、長時間の空気との接触では変質する。 |
| 危険有害性反応可能性: | 炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物、イソシアネート化合物、過酸化物質。 |
| 避けるべき条件: | 過度の加熱。空気との接触。 |
| 混雑危険物質: | 炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物、イソシアネート化合物、過酸化物質。 |
| 危険有害な分解生成物: | アミン類、アンモニア、燃焼等による一酸化炭素、窒素酸化物 |

11. 有害性情報

| | | |
|------------------|----|---|
| 急性毒性 | 経口 | 区分に該当しない 以下の区分の急性毒性物質を含む。 区分4 メターキシリレンジアミン ラットLD50 660~1180mg/kg |
| | 経皮 | 区分に該当しない 以下の区分の急性毒性物質を含む。 区分4 メターキシリレンジアミン ウサギ LD50 2000mg/kg |
| | 吸入 | 区分に該当しない 以下の区分の急性毒性物質を含む。 ラット LD50 4時間:0.8mg/L メターキシリレンジアミンの含有量が0.3%未満であるため該当しないとした。 |
| 皮膚腐食性/刺激性: | | 区分2 以下の区分の含有物質を含む。 区分2 混合物(変性ポリアミドアミン、メターキシリレンジアミンなど) |
| 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: | | 区分1 区分1 混合物(変性ポリアミドアミン、メターキシリレンジアミンなど) |
| 皮膚感作性: | | アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ(区分1) 区分1 混合物(変性ポリアミドアミン、メターキシリレンジアミンなど) |
| 生殖細胞変異原性: | | 区分に該当しない その他の変異原性; マウスに経口投与による小核で陰性結果により区分外とされる。 原料メーカー報告で分類できないとしている。 |
| 発がん性: | | データなしで分類できないとしている。 |
| 生殖毒性: | | データ不十分で分類できないとしている。 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露): | | 区分2(呼吸器) 区分2 混合物(変性ポリアミドアミン、メターキシリレンジアミンなど) |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露): | | データなし |
| 誤えん有害性: | | 分類できない 人への影響 データなし。 |

12. 環境影響情報

生態毒性:

水生環境有害性 短期(急性) 区分3

以下の区分の含有物質を含む。

区分3 メタ-キシリレンジアミン 藻類 セネデスマス EC₅₀(72時間) 14mg/L

区分3 混合物(変性ポリアミドアミン、メタ-キシリレンジアミンなど)

水生環境有害性 長期(慢性) 区分3

区分3 混合物(変性ポリアミドアミン、メタ-キシリレンジアミンなど)

残留性・分解性:

メタ-キシリレンジアミン; 急速分解性なしで難分解性である。

生体蓄積性:

メタ-キシリレンジアミン; 低濃縮性 BCF2.7

土壌中の移動性:

データなし

オゾン層への有害性:

本製品成分はモントリオール議定書にリストアップされていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装:

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号:

非該当

品名(国連輸送名):

非該当

国連分類:

非該当

容器等級:

非該当

海洋汚染物質:

非該当

国内規制

陸上規制情報:

消防法の規定に従う。

海上規制情報:

船舶安全法の規定に従う。

特別の安全対策:

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。

15. 適用法令

消防法:

非危険物

労働安全衛生法

名称等を通知すべき有害物: メタ-キシリレンジアミン
名称等を表示すべき有害物: 非該当(閾値以下の含有です。)

毒物及び劇物取締法:

非該当(メタ-キシリレンジアミンは閾値以下の含有です。)

化学物質排出把握管理促進法:

非該当

労働基準局長(基発 477 号の 2):

エポキシ樹脂の硬化剤成分(変性ポリアミドアミン)

海洋汚染防止法:

非該当

船舶安全法:

非危険物

航空法:

非危険物

16. その他の情報

F☆☆☆☆製品登録(JAIA-008059)、4VOC 基準適合登録(JAIA-400360)

参考文献

- 1) JIS Z 7252 及び 7253(2019) 日本規格協会発行
- 2) メーカー発行安全データシート 各原料メーカー
- 3) 日本化学工業協会「緊急時応急措置指針」

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保障をなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。